

リデュース リユース リサイクル

令和3年度

ごみ・リサイクルカレンダー表紙絵を募集

各家庭に配布するごみ・リサイクルカレンダーの表紙絵を描いてみませんか。ごみに関することなら何でも結構です。

■例ごみになるものはもらわない・買わない取り組みの推進、食品ロスの削減の推進、ごみ収集車、リサイクル、処理施設、地球環境など

■応募資格 市内在住・在学の小学校4～6年生

■作品 ▷未発表の作品に限ります▷B4判の画用紙に横長に描いてください▷クレヨン・絵の具など材料は問いません

■入賞 入賞作品は令和3年度ごみ・リサイクルカレンダーに掲載します(応募者全員に参加賞を差し上げます)

■発表 入賞者本人に連絡するとともに、市報に掲載します

■応募方法 9月1日～14日に、作品(1人1作品)の裏に住所・氏名(ふりがな)・電話番号・学校名・学年組を明記し、直接、ごみ対策課(市役所第二庁舎4階)または各市立小学校へ

■お問い合わせ ☎042-387-9835



令和3年度
ごみ・リサイクルカレンダー
広告主を募集中

令和3年度ごみ・リサイクルカレンダーに掲載する広告を募集しています。

市内の全戸・全事業所に配布している有力な広告媒体ですので、ぜひ、ご活用ください。

■規格(縦×横) 2.5cm×12cm

■広告掲載料 50,000円

■刷色 全色

■募集案内配布 8月31日までごみ対策課で配布しているほか、市ホームページからダウンロードできます

■申込 8月31日までに、直接、申込書に必要な事項を明記し、必要書類を添えて、ごみ対策課清掃係(市役所第二庁舎4階 ☎042-387-9835)へ

令和元年度 ごみ・資源物処理量

焼却処理量について

令和元年度に焼却処理された燃やすごみは12,327t(前年度は12,021t)で、306t(約2.5%)の増加となりました。内訳は、家庭系ごみが11,783t(前年度は11,631t)、152t(約1.3%)の増加、事業系ごみが544t(前年度は390t)、154t(約39.5%)の増加となりました。家庭系燃やすごみを市民1人1日当たりに換算すると、263g(前年度は263g)となりました。

本市は、燃やすごみの処理を令和元年12月まで多摩地域の各団体をお願いしてまいりました。また、令和2年度からは3市(日野市・国分寺市・小金井市)で構成する浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設において、日野市内での共同処理を開始しました。施設周辺にお住まいの皆様および関係者の皆様へのご負担を軽減するため、さらに燃やすごみの減量に努めていくことが必要です。市民の皆さんと事業者の方々が、ごみを出さないライフスタイルの実現に向け、食品ロスの削減や生ごみの水切りなど、ごみ減量の基本となる発生抑制に積極的に取り組み、さらに、古紙・布や剪定枝などの資源物や不燃系ごみの分別排出を徹底していただくようご理解・ご協力を

埋立処分量について

資源化することができない不燃系ごみの一部は、本市を含む25市1町で構成される東京たま広域資源循環組合が運営する最終処分場である、日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場で埋立処分を行っていましたが、平成28年度からは、さらなる選別と資源化により埋立処分を行っていません。

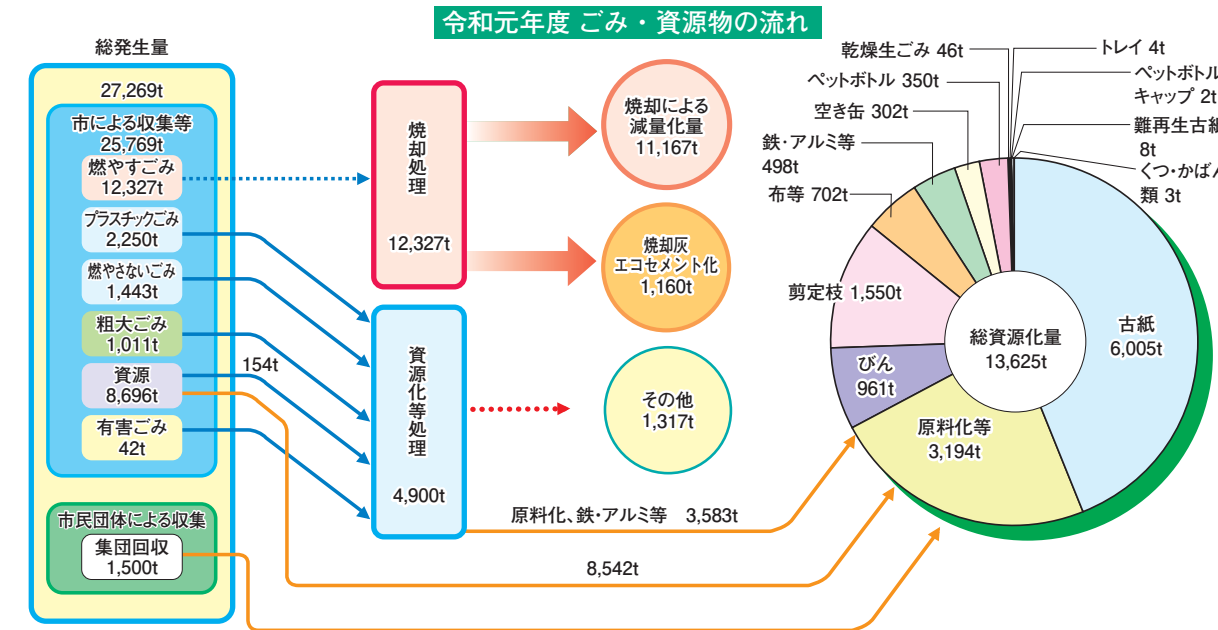
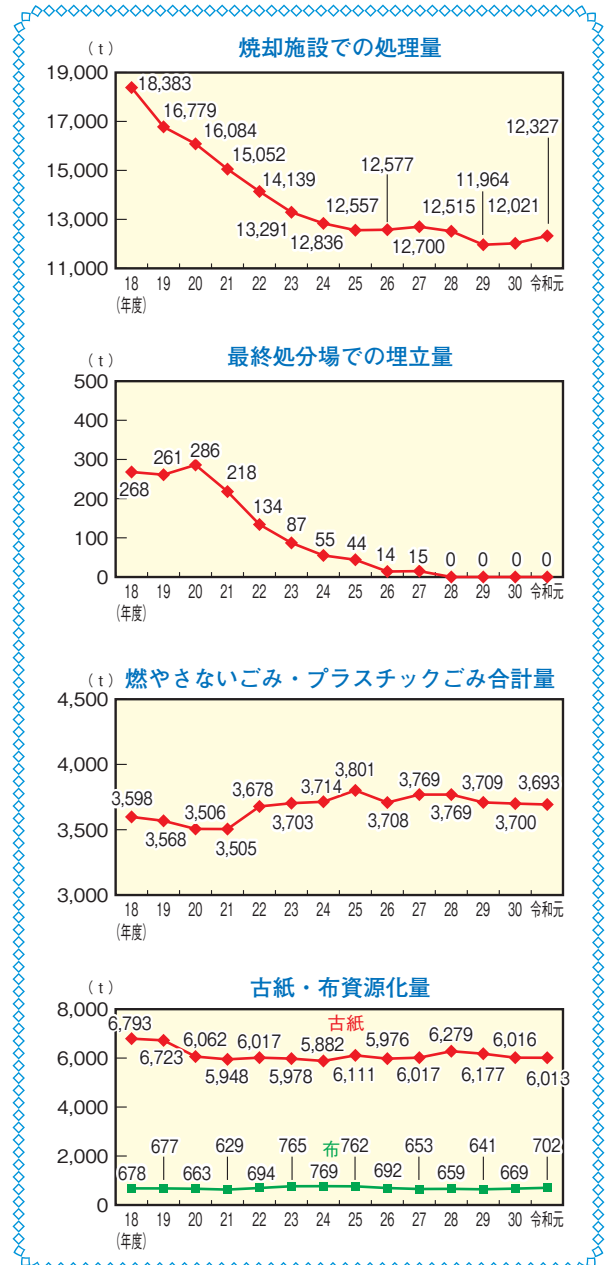
また、燃やさないごみ・プラスチックごみの収集量は、3,693t(前年度は3,700t)でした。

資源化について

令和元年度に収集されたごみ・資源物の総資源化率は、50.0%(前年度は51.3%)でした。

また、令和元年度に資源化された古紙・布は、6,715t(前年度は6,685t)でした。

また、その他に、従来埋め立てられていた焼却灰をエコセメントとして再利用する事業が平成18年度に始まっています。令和元年度の本市の燃やすごみの処理で発生した焼却灰1,160tがエコセメントとなりました。



ごみ減量大作戦!!

日ごろから、ごみの減量と資源化にご協力いただきまして、ありがとうございます。

本格的な夏の到来にともない、外出先での水分補給のため、ペットボトルや缶入り飲料を購入する機会が増加すると思いますが、今回はペットボトルや空き缶を捨てる際の注意点についてお知らせします。

まず、ペットボトルや空き缶を捨てる際は、中を軽く水洗いしてから出してください。次に、ペットボトルのラベルをはがしてください。はがれたラベルとキャップはプラスチックごみになります。

また、ペットボトルや空き缶は、なるべく袋ではなく、かごに入れて出してください。袋に入れて出す場合は、空き缶の袋に瓶などを混ぜて出すのは、絶対にやめてください。

なお、マイボトルを持参することにより、発生抑制になるだけでなく、家計の節約にもつながります。

引き続き、ごみの減量と資源化の推進のため、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

【5月分のごみ排出量報告】

5月分のごみ1人1日当たり排出量は、278.6gとなり、目標値(261.8g)を16.8g上回りました。

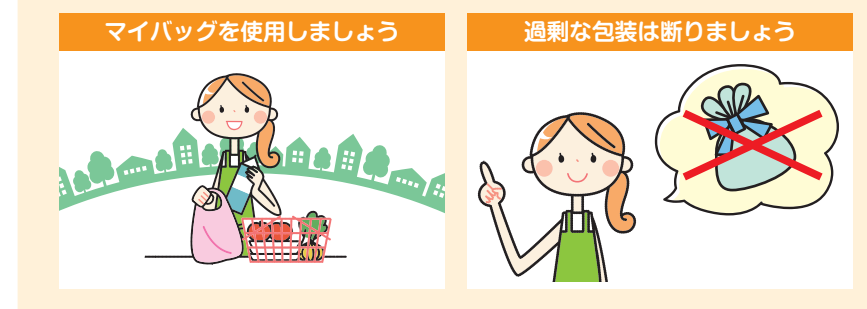
ごみ1人1日当たりの排出量(単位:g)

燃やすごみ(市内全域)	5月	278.6	261.8	16.8
燃やさないごみ(市内全域)	5月	47.7	32.5	15.2

プラスチックごみについて考える

プラスチックは、非常に便利な素材です。成形しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。一方で、近年マイクロプラスチックによる海洋生態系への影響が懸念されており、世界的な課題となっています。令和元年度版環境白書では、1950年代以降生産されたプラスチック類は83億トンを超えて、その内63億トンがごみとして廃棄されたとの報告があり、また、毎年約800万トンのプラスチックごみが海洋に流出し、2050年には海洋中のプラスチックごみの重量が魚の重量を超えるといった試算もあることから、問題の深刻さを強調しています。この他にも、地球温暖化といった問題もあります。私たちは、プラスチックの過剰な使用を抑制し、賢く利用していく必要があります。

令和2年7月1日より、全国的にレジ袋の有料化が始まりました。これは、上記の問題を踏まえた解決への第1歩として、消費者のライフスタイルの変革を促す目的で行われます。これをきっかけに、マイバッグを持参する、過剰包装を断るなど、毎日の中で、自分のできることから始めてみましょう。



夏休み中も土曜生ごみ投入リサイクル事業を実施しています

下記の小・中学校では、夏休み期間中も学校に設置している生ごみ処理機を利用した生ごみ投入リサイクル事業を実施しています。家庭から出る生ごみを投入することができます。生ごみ処理機に生ごみを投入し処理することで、家庭から出る燃やすごみ削減や臭いの軽減にも繋がります。ぜひご利用ください。ここで投入された生ごみは、野菜や果樹を作るための食品リサイクル堆肥としてリサイクルされます。

また、本事業とあわせて食用廃油や、くつ・かばん類の回収を実施する学校もあります。多くの方のご参加・ご利用をお待ちしております。

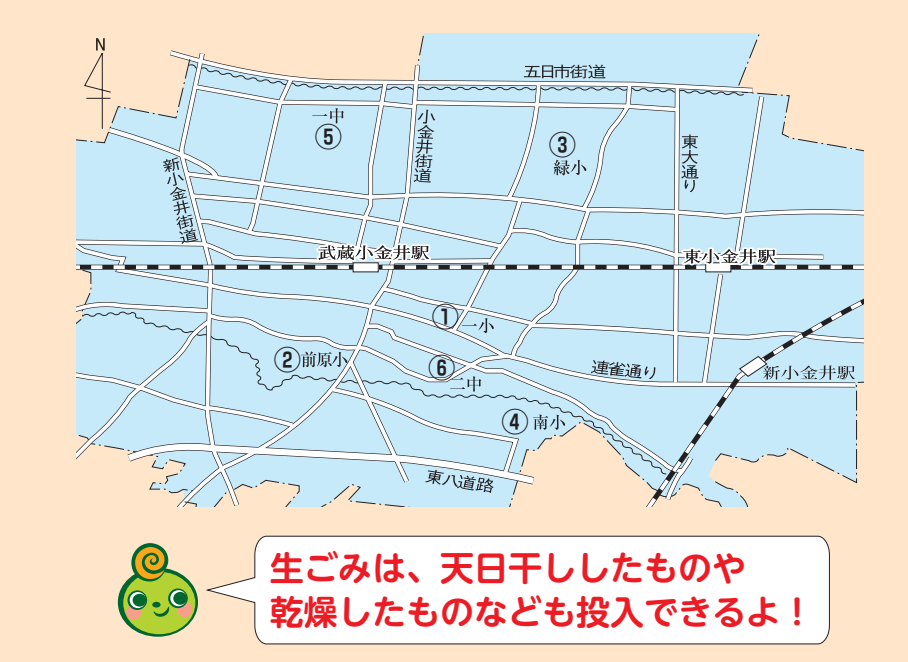
【生ごみの持参について】

生ごみは、水切りをしてから持参するようご協力をお願いします。水切りをすることで、電動生ごみ処理機の運転時間が短くなり節電にもつながります。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となる場合がございます。市報、市ホームページ等をご確認ください。

☎ごみ対策課清掃係 ☎042-387-9835

実施校	実施期間	食用廃油	くつ・かばん類
①第一小学校	毎週土曜日 午前9時～10時 (緑小学校は7/18お休み)	実施	8/15
②前原小学校		-	-
③緑小学校		実施	8/29
④南小学校	毎週土曜日 午前10時～11時	実施	-
⑤第一中学校		実施	8/29
⑥第二中学校	毎週土曜日 午前9時～10時	実施	8/29



生ごみは、天日干したのや乾燥したものなども投入できるよ!

リデュース

小金井市 ごみ減量キャラクター

くるくるカメくんエコバッグ販売中

トートバッグタイプ 1,000円(税込)	レジ袋タイプ 600円(税込)	内ポケット収納タイプ(ボーダー) 1,400円(税込)	内ポケットタイプ(ピンク) 1,200円(税込)	収納ポーチ付タイプ 1,000円(税込)
----------------------	-----------------	-----------------------------	--------------------------	----------------------

ごみの減量、発生抑制の推進および啓発のため、ごみ減量キャラクター「くるくるカメくん」のエコバッグを販売しています。お買い物の際、エコバッグを持参すれば、レジ袋や過剰な包装が不要になり、ごみの減量になります。ぜひご利用ください。

■販売場所 市役所第二庁舎4階ごみ対策課窓口

レジ袋(Lサイズ)1枚は約7グラム。身近なところから、ごみの減量に取り組もう!